

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年8月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104522
法人名	医療法人 サン・レオ会
事業所名	グループホーム ゲンキ館
所在地	鹿児島県鹿児島市上之園町29番地14 (電話) 099-258-7113
自己評価作成日	平成28年6月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年7月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の中心部に位置し利便性の高い場所であり、小学校や、高校に囲まれた閑静な住宅地にある。

人としての尊厳を尊重するという理念に基づいて、懇切丁寧な介護を提供し、皆様と明るく落ち着いた日常が過ごせるように日々努力している

認知症の症状の進行した方でも、適切な対応が出来るようにスタッフ全員研修を受け取り組んでいる

階下の医療機関で機能訓練としてのリハビリ指導を受け、日常の介護に取り入れている。階下の医療機関は人工透析も行っているの、認知症で透析治療が必要な方の入居も可能である。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは母体医療機関が同建物の1階にあり、24時間医療連携体制ができており、疾病の予防や早期発見にも努めている。
- ・町内会に加入し、校区行事や地域の夏祭りへの参加、小学校運動会の見物に出かけたり、児童の来訪や舞踊のボランティア受け入れなど、地域との継続的な交流がなされている。
- ・管理栄養士の献立による栄養バランスの良い食事、利用者の咀嚼・嚥下機能に合わせた食事形態にも工夫し、利用者の健康や楽しみを支援している。
- ・人としての尊厳を尊重し、年長者への敬意を払うという理念を管理者と職員は共有を図りながら日々のケアに活かしている。
- ・利用者の日記を通して利用者の毎日の気持や感動したこと・楽しかったこと・美味しかった食事など、心のふれあいができている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「人としての尊厳」を大切にしながら家庭的な生活を目指す理念を作り、常に理念を念頭に置き支援している。	事業所独自の理念を玄関やホール・食堂など複数ヶ所に掲示し、申し送り時や職員会議で理念を話し合い支援を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	学校区の地域の施設として認知して頂ける様に働きかけ小学校の児童クラブの子供たちとの交流や学校の行事に参加し、交流を図っている。	町内会に加入し、地域の夏祭りや小学校の運動会の見物に出かけている。児童が来訪し、施設で話をしたり歌を披露している。施設行事への踊りのボランティア受け入れをしたり、散歩時近隣住民との挨拶など地域との継続的な交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	街中の地域性で近隣の付き合いはなかなか出来ないが、民生委員・家族とのつながりの中で、ともに認知症の理解ができるように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>評価の報告等を行い、家族の悩みや要望・意見を聞き、第三者の意見等を参考に改善に努めサービス向上に取り組んでいる。また、会議に参加できなかった家族にも書面にて報告を行っている。</p>	<p>2ヶ月に1回会議を設け、毎月発行の「ゲンキ館だより」を配布し事業所の活動報告・外部評価結果報告等を行っている。参加者から意見やアドバイスを貰い、利用者の不潔行為についても意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターと情報交換や連携を図り交流を行っている。市の窓口に出向き相談や助言を頂き、入所者様の問題を解決できるように、協力関係を築いている。</p>	<p>市の窓口に行って困難事例の報告や利用者の暮らしぶり・ケアの様子を伝え相談し助言を得ている。電話で相談も行っている。市から介護相談員を年1回受け入れる等、連携を取っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>入職時や定期的に内部研修を行っている。法人内の会議や身体拘束廃止委員会で事例検討を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり、毎月内部研修で正しい理解と実践ができるように具体的な拘束の事例などを出し学んでいる。玄関の施錠は昼間は開放されて、外に出たい利用者は、職員と一緒に寄り添い散歩をしたり買い物をして、見守りを密にしながら入居者の自由な暮らしを支えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な内部研修を行い、法人内での会議において、意見交換をし虐待が見過ごされないように事例検討を行いお互い注意出来る環境、意識付けを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的な内部研修など基礎的な理解が出来るようにし、それを必要とされる場合助言が出来るように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時や内容などの変更時にご家族様と個別に面談し、十分な理解と納得を得られる様に丁寧な説明を行い、理解して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の面会時、担当者会議、運営推進会議の際に、ご家族や多職種の外部からの参加をお願いし、意見や助言を頂き、運営に反映させている 意見箱を設置している。	利用者からは個別の日記帳を通して意見や要望を把握するよう努めている。話しやすい環境づくりで、明るく笑顔で接するように努め思いを聞いている。家族からは面会時等の折に、日記帳や日常生活の様子などを通して家族の意見を聞き思いを運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃より、話しやすい関係を築き、ミーティング等で意見をだし、法人内の会議で問題を提案検討し、運営に反映している。</p>	<p>管理者は全体会議や日々のコミュニケーションの中で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。職員から出された提案や意見は全職員で意見交換、検討して必要と認められたものについては、早く反映させるよう努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人の希望や条件にあった就労が出来るように努め、やりがいや責任をもって、各自の向上心を高められるように情報提供に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各研修の案内等は回覧し、資格取得に積極的に取り組める様に情報を提供している。内部研修・勉強会なども定期的に行い、技術向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域包括支援センターや、他事業所と情報交換や交流を図り、情報を得てサービス向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>先入観を持たず、本人の思いや要望を聞くとともに、ご家族とも良く話し合い、少しでも信頼関係が育まれる様な関係作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話し合いの場を作り、ご家族様の入所者様に対する思いや不安、問題点などを傾聴し、不安なく安心して頂けるよう、信頼関係を築けるよう努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>日々の生活の中で、本人とご家族様等が必要としている支援を察知、理解したうえで、主治医の意見も参考に見極め、対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>年配者への尊敬の念を持って接し、これまでに培ってきた経験や人生観を傾聴し学びともに生活していく中で楽しみや喜びを分かちあいながら、個々の要望に出来るだけ対応できるように努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との連携を図り、ご家族様と利用者様の絆を大切にし、密な情報交換を行いご家族様が出来る事は、協力してもらうなど、協働しともに利用者様を支えている関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親しい友人や近所の方々が気軽に訪問されたり、近隣の商店街や散髪屋に行き、馴染みの関係を維持できるようにしている。	手紙や電話の取次ぎ、馴染みの人の面会や訪問が途切れないように、来訪時はゆっくり話をしてもらっている。事業所周辺に住んでいた利用者が多く、近所の知人や親戚がよく面会に来て馴染みの関係が維持されている。散歩をしながら立ち寄る商店の店主と気軽に世間話しをして楽しんでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同じ場所で生活するなかで、共に行事に参加し日々のレクリエーションやリハビリなどを通して、お互いを尊重し合えるような関係作りを目指し努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話や訪問で退所後の近況を尋ねたり、ご家族様が訪ねてくださるなどの関係を持ち、相談などの対応もしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個人個人の希望や意向を聞き取り出来る限り優先している。思いをうまく伝えられない方は、表情やご家族様からの情報などからその人らしい生活ができるよう支援している。	どのような暮らし方を希望しているのか意見を聞いたり、日常生活の中での表情や会話などから思いを推し測り、申し送りなどで全職員で共有している。困難な利用者には日常生活でさり気なく出た言葉などから気持ちを察知したり、家族の面会や受診報告の時などに家族から聞いたり連絡帳なども活かして本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や馴染みの方々の話と本人の職業歴など参考にし、特意な事や趣味が継続出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	大まかな日課や週間予定は有るが利用者の生活リズムやペースを大切にし、時間がかかってもその方のスペースに合わせて職員が動くように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族様の希望や意向を基に主治医や、スタッフの意見、多職種からの意見、日々の記録などを参考にモニタリングを行い、現状にあった介護計画の作成に努めている。	本人や家族の意向の把握を行い、利用者本位のその人らしい過ごし方の介護計画を作成している。定期的なモニタリング・カンファレンスで意見や情報交換を行っている。本人や家族からの要望や健康状態の変化が見られた場合は現状に合わせて介護計画の変更を行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子等、個別記録に毎日記入し、スタッフ間で共有して朝・夕の交代時に申し送りしている。月一回の全体ミーティングでも、話し合いを行い、状態変化が見られた場合は、計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関と医療連携が出来ている。状況に応じての往診や看護師との連携も柔軟に対応している。また、リハビリの充実と他事業所との交流も図っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小学校の行事に参加したり、近隣の散髪屋や花屋を利用したり、友人や近隣の方の面会や民生委員の訪問をうけ地域の中で生活している実感と充実感がもてるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族様の希望を大切にしている。他科受診は家族が同行されたり、状況によっては職員が同行するなど適切な受診が出来るように支援している。歯科医院は連携が出来ており、訪問診療も対応ができています。	かかりつけ医は契約時に希望を聞いて受診を支援している。協力医療機関からは1週間に1回の受診を行い、歯科の訪問診療など支援している。かかりつけ医や他科受診は家族の支援が主であるが状況により職員同行受診など複数のかかりつけ医の受診を受けられるように関係を密に結んでいる。受診後は家族に報告をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常で看護師の協力と関わり合いがあり、スタッフの意識・知識向上につながっている。週一回の定期検診と健康管理をしてもらい、緊急時に備え、看護師が24時間対応できる体制が出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には主治医より紹介状をもらい情報を提供している 日々の状態や支援に関しては医療機関に介護情報提供書を作成し、早期に治療、退院が出来るように情報を提供している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の対応や看取りに関する指針を文章化し説明を行っている。そのうえで家族の意向や希望を優先し、主治医やスタッフと密に連携を図り可能な限り対処できるように支援している。</p>	<p>入居時に重度化に伴う看取りの指針を説明し共有を図っている。重度化や終末期には本人や家族の意向を踏まえ状態の変化がある毎に家族に説明を行い、主治医や看護師との連携をはかりながら全職員で支援する体制が整っている。終末期の支援をした事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成し、定期的に内部研修を行っている。法人内の看護師の指導を受けながら、救急手当や初期手当を訓練し、実践に活かしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を消防署の協力のもと実施し法人全体の職員全員が速やかに対応出来るように取り組んでいる。スプリンクラーの設置や緊急時マニュアルも作成している。</p>	<p>消防署の指導を受け年2回昼・夜間を想定して、入居者や法人全体の職員と共に通報・避難訓練を行っている。自主訓練で噴火や地震、その他の災害を想定して避難経路の確認などを行っている。スプリンクラーや防火扉・自動災害通報装置が設置されている。災害時の水や缶詰・インスタント食品なども備蓄されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>馴れ合いからくる言葉づかいや態度に注意して年長者として人格を尊重している。入浴時、排泄時のプライバシーにも十分注意し、対応している。</p>	<p>年長者として敬意を払い、その人に合ったさりげないケアに努めている。排泄時は人に気づかれない様に、失敗を悟られないようにするなど言葉かけには注意している。羞恥心やプライバシーを守りドアを閉めたり、周りに気づかれないような配慮をしたり、尊厳を大切に日常のケアの支援をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入浴時の洋服を選んで頂いたり、レクリエーションの参加等利用者様の意見、思いを尊重し自己決定できるように支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な日課はあるが、個人のペースを尊重し、楽しく過ごせる時間も確保し、レクリエーション・作業療法などその日の体調にあった過ごし方が出来るように支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>個人個人の個性を大切に、お化粧をしたり、髪の毛を整えたり、好きな洋服を着用したり等心地よく過ごせるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来ることは積極的に参加してもらい、あいさつ、準備、片づけ等を行っている。また、簡単な調理を一緒に作るなど食事が楽しみになるように支援している。	管理栄養士の指導で行事食や季節感のある食事作りに工夫をしたり、利用者と一緒に下ごしらえや後かたづけ等を行っている。嚥下体操やレクリエーションを通して誤嚥を予防したり食事に期待を持たせている。行事食やバイキングを取り入れ食事を楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指導の下、栄養バランスや水分量の確認を行い、一人一人の摂取量の把握に努め、利用者様個々にあった量・形態の提供を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い 口腔内の清潔に努めている 義歯に関しても、毎日消毒の実施をしている 歯科医師の指導助言も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別の排泄状況やパターンを把握し、トイレ誘導を行い、日中はトイレを使用しオムツ使用を減らし自立に向けた取り組みを行っている。自立の方は維持できるように声掛けや見守りを行い支援している。	排泄状況を個別に記録して、しぐさやパターンで判断し早めのトイレ誘導を行っている。日中は布パンツやパット・リハビリパンツを使用しトイレ誘導をしている。オムツから改善した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の状況を把握し、週一回の主治医の指導や服薬の処方を受け、繊維の多い食事や水分量にも気を付けて、適度な運動も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているが、本人の希望に沿って、いつでも入浴出来る様に柔軟に対応している。	入浴日は基本的に週3回であるが時間や快適な湯温度など本人の希望に沿って、いつでも入浴ができるように支援している。日曜日にも希望があれば対応している。脱衣所は温度調整をしている。入浴剤を使用して心地よい入浴ができるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の生活パターンが出来ており、体調を考慮し、自室で休まれたり、ソファにて寛がれたり、昼食後も昼寝や休息をとって頂き、気持ちよく過ごせるよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、一人一人の薬の内容を処方箋で確認し、内容の変更も把握し、理解している。状態変化が見られたら主治医に報告し、職員間でも情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の出来る事見を極め、それぞれの役割ごとを決め、取り組んでいる。飾り物などは一緒に出来るところをして、和気あいあいとする時間を作っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族様の協力を頂き、温泉にいったり、自宅の様子を見に行ったり、外食や、外泊も出来るよう支援している。また、年間行事表を作成し、花見・水族館等に出かける機会を作っている。また散歩や散髪も取り入れている。	日常的に散歩や近隣商店街への買物・理髪店などに出かけている。地域行事の見物に行ったり、年間の行事計画に沿って春や秋の花見・水族館等へドライブで定期的に戸外に出かけるようにしている。家族との外泊や外食・買い物なども支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族から金銭を預かり買い物の支払いをする時ご本人にして頂くよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば、家族・友人・知人に電話をかけたり、手紙、ハガキなどのやりとりが出来るよう支援している。年賀状や暑中見舞いを家族に書き、館内に展示も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間は季節感を出せるように工夫し、空気の入替えや温度調整にも気を付けている。共同部分は清潔で家庭的な居心地のいい環境作りを心がけている。</p>	<p>共用空間は広くて明るく、窓から街が一望できる。温度・湿度・不快な音もなく快適な室内環境が保たれている。和室も設けてありくつろげる場所になっている。壁面に掲示されている作品は季節を感じる飾り付けで利用者はソファでテレビを見たり、お喋りや日記・絵描きを楽しみながら居心地よく過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事の座席は気の合う方々と一緒に過ごせる様にし、ゆっくり過ごす時は、ソファや和室を利用し、レクレーションや作業療法の時も助け合いながら楽しく過ごせるよう支援している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時、家族と相談し、本人の希望に沿って、馴染みの物、写真やお位牌など置き、今まで生活してきた環境を取り入れ、安心して生活ができるよう支援している。</p>	<p>居室には自宅で使っていた家具や小物が持ち込まれ、お気に入りのぬいぐるみや家族写真・仏壇など、安心と心が和むような工夫がされている。本人と家族が相談しながら衣替えや衣類の整理・家具の移動等をしている。ハンガーラックに洋服や帽子・バッグが掛けられて着用したい衣服がすぐ選べるような、職員の心配りがある。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや浴室、玄関、廊下など安全に生活できるよう、環境を整備し、自分の部屋が分かる工夫を行い、一人ひとりの状態や残存機能が維持出来自立へ向けて活かせるように工夫している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない